

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	山梨県	市町村名	富士河口湖町
-------	-----	------	--------

プロジェクト名	災害につよいまちプロジェクト		新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <p>あらゆる災害から生命・財産を守るため、災害の備えとして、「備蓄倉庫等」や「耐震性貯水槽」や「消火栓」を設置・整備することにより、今後、発生が危惧されている東海地震や富士山噴火などの大規模災害において、初期消火や災害応急対策や応急災害対策に備えます。</p> <p>現在、本町では、上九一色地区を除く各地区には避難所となる敷地内、若しくはその付近に防災備蓄倉庫が設置されていますが、上九一色地区においては公民館等の物入れ等に食糧・毛布を備蓄している状況です。このような状況のなか、災害に備え、精進・本栖・富士ヶ嶺地区の避難所となる小中学校敷地内に防災備蓄倉庫を3ヶ年計画(1基/年)で新設するとともに、食糧・日用品及び災害用備品を整備し、災害発生時の応急対応がスムーズに実施できるようにします。</p> <p>また、富士ヶ嶺地区は水道管の口径が小さいことや住居が分散していることから消防水利の施設整備が進んでおらず、火災の際には何十本もの消防ホース中継したり、移動式の水槽を使用して水を運ぶなどして消火活動を行ってきました。</p> <p>平成19年度より上水道本管(全長36km)整備が3ヶ年計画で実施されることとなり、その工事にあわせ、消火栓や耐震性貯水槽(40^m)を計画的に新設し、迅速な消火活動を行い被害を最小限に防ぐことを目的として整備します。</p> <p>さらに、災害等の避難所となる精進小学校(精進地区)と上九一色中学校(本栖地区)付近には防火水槽の設置がなく、災害において、初期消火や災害応急対策のための水利施設として耐震性貯水槽(60^m)を新設し、火災や応急災害対策に備えます。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫の設置数 3.0基(平成19・20年度) ・消火栓設置数 24.0基(平成19～21年度) ・40^m耐震性貯水槽設置数 4.0基(平成20・22年度) ・60^m耐震性貯水槽設置数 2.0基(平成20・22年度) 			
プロジェクトの期間	平成19年度～平成22年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑨安心・安全なまちづくりプロジェクト	
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/ka/info.php?if_id=75&ka_id=8			
プロジェクトを構成する具体の事業・施策				
名称	事業概要		総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
備蓄倉庫	平成19・20年度 倉庫(全長6.00m×全幅2.40m×全高2.35m)×3ヵ所		4,712	0
備蓄食糧・日用品	平成19・20年度 (五目御飯、安倍川餅、クラッカー)×3ヵ所		1,011	0
災害用備品	平成19・20年度 (発電機、投光器、救急用具等)×3ヵ所		1,021	0
消火栓	平成19～21年度 消火栓、格納箱(ホース5本、管鎗1本、開閉器1個含む)×24.0基		14,000	3,340
40 ^m 耐震性貯水槽	平成20・22年度 40 ^m 耐震性貯水槽×2.0基×2ヶ年		18,500	0
60 ^m 耐震性貯水槽	平成20・22年度 60 ^m 耐震性貯水槽×1.0基×2ヶ年		14,000	0
総 計			53,244	3,340
その他特記事項				